

令和4年度 第1回長野市文化芸術振興審議会 会議録（概要）

日 時 令和4年7月21日（木） 午後2時から午後3時30分まで

場 所 長野市ふれあい福祉センター 5階ホール

出席者 委 員：齊藤会長、岩淵委員、北原委員、霜田委員、杉山委員、小林委員、
多田井委員、樋口委員、曲尾委員、山本委員、若山委員

長野市：事務局（文化スポーツ振興部文化芸術課）小林部長、小林課長、
倉島主幹、五明補佐、村石係長

教育委員会事務局文化財課 前島課長

オブザーバー 長野市文化芸術振興財団 柴田事務局長

資 料

資料1-1 第二次長野市文化芸術振興計画 事業計画 令和3年度版

資料1-2 第二次長野市文化芸術振興計画 事業計画 令和4年度版

資料1-3 第二次長野市文化芸術振興計画 事業実績・事業計画 令和4年度版

資料1-4 令和3年度 一般財団法人長野市文化芸術振興財団 事業報告書

資料1-5 令和4年度 一般財団法人長野市文化芸術振興財団 事業計画書

資料2 令和4年度 文化芸術振興事業の概要

1 開会

2 長野市文化スポーツ振興部長あいさつ

3 長野市文化芸術振興審議会会長あいさつ

4 委員委嘱

霜田委員、樋口委員を委嘱

5 会長職務代理の選出

会長の指名により、霜田委員を選出

6 議事

(1) 第二次長野市文化芸術振興計画

令和3年度実施状況及び令和4年度事業計画について

(2) 令和4年度 文化芸術振興事業の概要について

(3) その他

(事務局)

〈議事(1)について説明〉

(委 員)

様々なイベントの参加者がコロナ禍により減少しているが、伝統芸能については、人数が減ったというだけでは済まない状況が出てきているのではないかと。行事が2年、3年と中止になる中、獅子舞の踊り方などの技術の継承が困難な状況が発生しているのではないかと。大きなイベントが出来ないなら、各団体で規模を縮小して実施できるよう支援する施策も必要ではないかと。コロナ禍で色々なことが変化する中、対応を考える必要がある。

(事務局)

獅子舞フェスティバルは、コロナの影響で日程が変更となっている。コロナだからと言って簡単に中止するのではなく、できるだけ発表の場を設けたいという思いから、感染状況を見ながら、令和3年度は例年の5月3日から秋に日程を変更して開催した。他のイベントについても、なるべく開催するよう日程を調整してきた。

伝統芸能の継承に関しては、昨年、各団体にアンケート調査を行ったところ、活動の場や練習の場がないため、今後の活動に不安を持つ団体もあった。獅子舞フェスティバルでは参加団体は少なかったが、発表の場を与えてもらってよかったという評価もいただいている。その他にも、各団体への補助金を用意している。こうしたものも活用していただきながら、継承へつなげていただければと思っている。その他、民間財団等による補助メニューもあるため、これらの情報もお知らせしながら伝統芸能の活性化につなげていきたいと考えている。

(委 員)

今年の6月、3年ぶりの北信美術展を県立美術館で開催したが、様々な要望・意見をいただいた。

- ・美術館の駐車場がない。
- ・入口は多くあるが、美術展会場（地下1階）への導線がわかりにくい。
- ・9月に開催する長野県美術展では展示スペースが不足しそうである。
- ・地下1階で行っている北信美術展の案内表示がほとんどない。

長野市には市立美術館の建設を要望してきたが、新たな美術館の建設が困難であるなら、県立美術館を市民・県民にとって使いやすい美術館にするよう働きかけをしていただきたい。

(事務局)

県立美術館では、長野市主催の水上民平展や長野市風景画展などのイベントも何度か行っており、入口から展示会場（地下1階）への誘導が難しいこと、駐車場がないため、作品の搬入に苦労するというご意見があることも承知している。こうしたことを県立美術館へもお伝えしていきたい。

(委 員)

北信美術展や長野県美術展のお話はお聞きしている。駐車場という構造的な問題は

対応が困難であるが、できるだけ工夫をしていきたい。城山公園は長野市の土地であり、そこを長野県が借りて県立美術館を設置している。公園の中であり、スペースも限られることから、長野市と長野県で協議のうえ、現在の形となったと聞いているため、ご理解いただきたい。

市立美術館といえば信州新町美術館だが、県立美術館も同じ長野市内の美術館ということで連携できれば良いと考えている。

(事務局)

<議事(2)について説明>

(委 員)

伝統芸能と、子どものための文化芸術プログラムをどのように絡めて行っていくかについて、長野市と長野市文化芸術振興財団が連携して、もっと市民にアピールしてほしい。また、市と財団はすり合わせなどを行っているのかお聞きしたい。

(事務局)

長野市と財団は毎月定例会を実施し、打ち合わせ等を行っている。子どものためのプログラムも、情報交換しながら幅広い世代が楽しめるプログラムが美術館で開催されるよう打ち合わせ等を行っている。

伝統芸能については、「伝統芸能こどもフェスティバル」を令和元年から長野市美術館で開催している。伝統芸能・伝統文化を次世代へ引き継いでいくという思いから開催しているものである。

(事務局)

美術館主催事業では、子どものためのプログラムとして「学校訪問コンサート」を毎年実施している。また、学校へ訪問したグループが美術館のホールでコンサートを行い、その学校の子どもの割引料金で来てもらうという事業も行っている。

その他にも子ども向けプログラムも実施している。

伝統芸能こどもフェスティバルも共催事業として市と連携して実施している。

<議事(3)その他 意見交換>

(委 員)

長野市美術館では大型バスや機材を積んだ大型トラックが駐車できない。このことについて、改善する方法はあるのか。

(事務局)

大型トラックは搬入口から機材の搬入が可能である。大型バスの駐車が必要な時は市に協力いただき、駐車場をお借りしている。

(委 員)

長野市文化芸術協議会の会員が減少傾向である中、公民館で稽古等を行うことがある。年間を通じて利用するが、毎月2ヵ月先の予約をしなければならないことが煩雑であるため、簡略化してほしい。

詩吟を音楽の授業やクラブに取り入れていただいている学校もある。伝統芸能を教育の場に取り入れていただく工夫をお願いしたい。

(事務局)

長野市と伝統芸能こどもフェスティバル実行委員会で伝統芸能訪問公演を実施しており、学校や児童館・児童センターへ訪問して公演を行っている。昨年は信州新町小学校で箏の演奏を行ったほか、鍋屋田小学校へも訪問した。今年度も複数の学校等から申し込みをいただき、実施に向けて調整中である。

(委員)

野外彫刻のQRコード（ピコッとリンク）は何点設置されているのか。

(事務局)

現在、27点設置されている。城山公園周辺に11件、南長野運動公園に12件、古戦場、市役所に設置されており、順次拡張していく予定である。

(委員)

野外彫刻巡りについては、善光寺七福神めぐりのように、観光客や市民がスタンプラリー形式で自由に見て回ることを促してもよいのではないかと。

(事務局)

観光部門とも相談しながら検討していく。

(委員)

善光寺御開帳にあわせて4月～6月に、「にぎわい獅子舞」と題して、大本願、大勧進境内で獅子舞を行ったほか、善行寺周辺で道中行列を行った。可能であれば、道中行列を御開帳期間以外にも行いたい。

また、獅子舞フェスティバルはこれまで中止とならずに実施していただいております。大変ありがたいと感じています。

コロナにより活動が困難であるが、伝統芸能の継承のため、工夫しながら活動している。

(委員)

伝統芸能こどもフェスティバルには、第1回から関わらせていただいている。第1回からずっと参加している子どももいる。芸術館できちんとした着物を着て演奏することに関心を持つ子どもが多く、そういったことも大事にしていきたい。

また、今年は御開帳期間中に祇園祭が開催されたが、子どもたちに長野市内の伝統のお祭りも知ってほしいと思い、4人の子どものにも参加してもらった。

大縁日の表参道芸術音楽祭でもセントラルスクエアで子どもたちだけで演奏するプログラムを行い、演奏することに喜びを感じてくれている。

今後も伝統芸能継承発展事業に尽くしていきたい。

(委員)

現在、長野県立美術館で「ジブリパークとジブリ展」が開催されており、大きな反響がある。長野市芸術館でも集客力の高いイベントを開催することも重要である。県立美術館の導線がわかりにくいとお話もあったが、長野市芸術館も初めのころ

はわかりにくいと言われながら改善を図っていった。利用者が共に育てるという感覚を持っていただき、改善を提案していただくことも大事だと思う。

また、セントラルスクエアをもう少し使いやすい環境を作ったほうが良い。発表したい人が自由に使える環境を整えることを検討していただきたい。

子どものための環境を整えることも重要であるので、ご努力いただきたい。

7 その他

8 閉会